

# 北海道代協 臨時理事会 議事録

## (平成28年度第2回理事会)

平成28年6月3日(金) 11:00~12:30

於：センチュリーロイヤルホテル

出席者(以下、敬称略)

会長	羽山 和広	帯広	理事	川口 直一	札幌	理事	小笠原 信夫	千歳
副会長	松浦 則雄	函館	理事	濱谷 一弘	札幌	理事	田代 誠治郎	函館
副会長	佐々木 雅之	札幌	理事	嶋田 拓馬	札幌	理事	大橋 敏	函館
副会長	吉田 和彦	釧路	理事	山崎 善仁	札幌	理事	濱中 公也	函館
副会長	深井 弘美	帯広	理事	廣瀬 禎	室蘭	理事	上畑 雅則	釧路
専務理事	伊藤 隆人	札幌	理事	山本 仁	旭川	理事	大高 喜弘	釧路
常務理事	酒井 正衛	札幌	理事	坂本 信一	旭川	理事	通岩 稔	釧路
理事	山口 史朗	札幌	理事	佐々木 直人	旭川			
理事	田中 幹	札幌	理事	本田 秀一	苫小牧			

司会 専務理事 伊藤 隆人

### 1. 開会の辞

### 2. 北海道代協会長挨拶

### 3. 議長選出

議長には佐々木氏(札幌)が指名され、承認を得た。

### 4. 出席理事数の確認

議長より、理事者数27名、本田氏が遅れる連絡がありますが出席者数25名。ここに理事会の成立を宣言致します。

### 5. 議事録署名人の選出

北海道代協定款に基づき「会長及び出席した監事が署名又は記名押印しなければならない。」ですが、監事2名欠席の為、会長及び川口氏(札幌)が指名され、了承を得た。

### 6. 議事

(1) 第1回北海道ブロック協議会・理事会限定承認事項の承認について

**羽山会長、本日の開催理由の説明:** 山崎理事、濱谷理事、田中理事連名の質問がメールで入りました。それに対して、山崎氏と電話で話し合った。前理事会で未承認事項があり、承認がなければ総会開催は出来ないのではないかという指摘により、本日の臨時理事会開催となりました。

**山崎:**メールがクローズアップされ、主旨が上手く伝わっていなかった。混乱を招いたことはお詫びします。怪文書のように言われていますが、決してそんなつもりで提出したのではない。4月15日理事会ですべて承認されて終わったのではなく、限定承認であった。

四役会議の議事録が中々届かなかったので催促した。会長からは、議事録はなく、会議メモの提出があった。内容には理解ができなかったので、質問書を提出。理事の方にメールで送れば共有できると思い質問書を送った。それが怪文書との誤解があったようです。

質問内容(1)四役会議議事録について。「四役会議題」と称されるファイルが添付されていますが議事録ではない。(2)旅費の明細について。①詳細が知りたい。②寺田氏より、会員が増えて、理事が増えたので旅費が増えたとの説明があったが、実際は理事は減っていた。話に整合性がない。③道内交通費のみの支出との回答でしたが、道外出張があった。また、宿泊費は1泊5,000円の規定より多い。理事会で承認すれば良いと思い、入れた。(3)総会資料について。事業計画案の修正がされていない部分があった。

5月13日の四役会議に呼び出されて、お叱りを受けた。質問に対しては回答を得たのですが、四役会議で統一見解を出すことになり、本日の臨時理事会で説明されることになった。前回理事会の未承認事項を処理すれば午後からの総会がスムーズに進む。それが理由です。(4)その他。日本代協委員の選出手順についての説明を求めます。5月13日の議事録もあればと思います。

**会長:**四役会議議事録は皆さんにメールした資料で、次の会議運営、各支部、各委員会について話し合っている。議題しかなく、正式な議事録にはなっていないが、このように話し合いをしている。嘘の答弁ではないかという指摘は、決して嘘をついた訳ではないです。

メールによる質問提出は理事以外にも流れている。支部によっては全ての人に流れているこのやり方はおかしいと感じている。執行部宛、札幌支部担当副会長宛、専務理事宛が適当と思う。意見の挙げ方は今後考えていければと思う。②旅費交通費は明細を付けました。更に山崎氏に領収証のチェックをして頂きました。旅費交通費の増えた理由に整合性がないとの指摘は、各支部間交流をする、会長が帯広から出向く回数が増えた為でご理解を頂きたいです。③は道外出張がありました。日本代協の会議にはオブザーバー参加で、私一人が聞くのではなく、副会長に順番に聞いてもらいたいと思い行って頂いた次第です。日本代協からは自費のオブザーバー参加であればと了解していただいた。事後報告で皆さんの了解なしでの参加はお詫びする。その宿泊費は1泊5,000円を失念して実費請求してしまいましたので、差額13,300円は5月13日全副会長の前で返金しました。お金の使い方のチェック機能を改めて考えていきたいと思えます。(3)総会資料では、先に理事の皆さんに提出してからでしたが、総会資料が先に出てしまい、お詫びします。

**山崎:**5月15日14時より、伊藤専務立会の下、領収証と帳簿を閲覧しました。一つ一つの詳細は省きます。皆さんが遠方から来て活動していることも良く分かりました。宿泊費の5,000円は現状に合わないと思うので、今後改定していかななくてはならないと思う。1年程前から、役員が支部に行って総会・セミナーの懇親会参加費用を北海道代協から支出している。合計で10万円位になる。これは規約にないので、考えていったら良いと思う。支部間交流は、四役が担当支部以外に行った時の旅費支給の取り決めがなかった。

メールが支部に出回ったことは、理事会メンバー限りと入れるべきだったことは注意が足りなかった。

**山口:**①旅費については、突発的に発生する事項もありやむを得ないケースがある。その場合、旅費規程では理事会に報告承認を受けることになっている。今まで、その報告がなされていない。②日本代協の事業計画には、一般社団法人の運営はルールに則った運営をすると書かれており承認されている。会長裁量は認めるが例外であってほしい。③旅費規程は一般社団法人になって1年後位に出来たもので、当時の財政状況に応じた規程です。北海道代協のための活動は、北海道代協が負担するのが原則だと思う。現在の財政で出来る範囲で負担するように旅費規程を改定する必要があると思う。改定した場合のシミュレーションをし、予算案と共に総会承認をいただくのが望ましい。

**山本:**メール文書は名指しで誤解を招く内容だ。そもそも今日の会議が必要だったのか。考えてもらいたいと思った。

**会長:**必要と考え、開催した。

#### 限定承認事項の承認について

**羽山:**総会資料 p43、1. 支部活動への協力「・理事会の支部開催を1年に一回は行い、その地域の会員の皆さんとの交流を図るとともに情報交換等により代協活動を情宣する。」とする。

議長は諮り、「・理事会の支部開催を1年に一回は行い、その地域の会員の皆さんとの交流を図るとともに情報交換等により代協活動を情宣する。」2行削除以上、拍手を持って承認された。総会で削除の説明をする。

**山口:**総会に向けて、理事候補の承認はあるが、監事候補の承認がないと思う。

議長は監事候補として、千歳支部・本村氏、苫小牧支部・富田氏の承認を求め、拍手を持って承認されました。

**山口:**会費統一の件、今回の総会議案書に会費統一に関して、載っていない。昨年総会前理事会で、羽山会長は「会費統一は決まっている。但し、諸事情により、今回の総会には議案として出せないが、場合によっては臨時総会を開くこともある。」と言っている。昨年総会では、松浦副会長がそれまでの経過報告と今後の方向性について報告し、総会承認となっている。ところが、昨年10月の四役会議で会費統一は会長判断で見送りになり、その後の理事会で追認している。昨年総会後の理事会決定の変化を、今年の総会で改めて説明する必要があります。場合によっては、改めて承認が必要となる。その10月の理事会では2016年中に会費の徴収方法を統一することが確認されている。北海道代協の定款には、会費の額と納入方法も総会決議事項となっている。今年の総会前理事会で、そのことは全く触れられていない。総会の議案にもなっていない。

**会長:**その他の中で、会費統一は見送りとなったことを説明する。

**松浦:**会費検討委員会の座長をしていたので発言させて頂く。平成21年から足掛け7年に

亙って話し合いされている。延べ 20 回位行われた。交通費で窮屈なのは確か。四役会議では、値上げもやむを得なしと考えている。見送りになったことを、今後を見据えて会長の説明が必要と思います。

**会長:**各支部長から話を頂いており、大変複雑です。決まっているから直ぐやるでは、会員増強で頑張っているのに、会員が減るということになる。どこかでやらなければならないことは当然と思いつつも今回、見送りした。新年度は改めて会費検討委員会をやらざるを得ない。

**山口:**もう 6 年間も議論して何時までやるつもりですか。率直に言って、ヤル気の問題です。昨年 10 月の理事会で、見送りだけでも支部長を入れて今後も検討していく千葉県代協、福井県代協は将来を見据えて会費改定をした。ヤル気の問題です。値上げになる支部には何故値上げになるかきちんとした合理的な説明が必要です。そういう準備と腹があるのですか。

**会長:**伺ったことを参考にしてやっていく。総会の中で、見送りになったことと、今後の事を説明する。

以上、会費に関して、会長は総会に於いて、見送りになった説明と今後について説明を行うことが拍手を持って承認されました。

**廣瀬:**日本代協 平成 28 年度事業計画 (3)代理店経営支援の指針: ③代協会員の一人当たり生産性の向上に資する支援を行う(@1,000 万円を目標)の説明を願う。

**会長:**事業計画としてただ載せただけで、説明できなく申し訳ない。

## (2) その他

伊藤専務理事より、協会健保についての説明。

**大橋:**北海道代協の定款は設立時に配布して以来そのまま。10 年たって、委員会名が変わっている。交通費が現状に合わない。これを基に話し合いをするので、総会資料に載せるなどして、会員に知らせるべきと思う。

**会長:**その件については、現在、修正作業中です。

## 7. 閉会 12:30

上記、議事録を作成し、議事録署名人が記名押印する。

平成 28 年 6 月 3 日

会 長 羽 山 和 広 (印)

理 事 川 口 直 一 (印)